

# とっとり県政だより

2022(令和4)年1月号 通巻741号 毎月1日発行

2022

(新春座談会)左から鳥取看護大学看護学部教授 荒川満枝さん、  
(株)アンドローカル ファウンダー 面谷斗夢さん、鳥取県知事 平井伸治、  
熱波師 五塔熱子さん、合同会社cocoto代表社員 佐々木よしみさん



## 目次

P2

### 特集

## コロナ後の未来へ 鳥取の魅力創造 ～活力ある地域へ飛躍～

P8～10

### 県政トピックス

- 令和3年度の県民意識調査
- 第30回心の健康フォーラム
- 新型コロナ予防の追加接種

## 除雪作業へご協力ください

積雪時の道路の安全を確保するため、除雪作業にご理解とご協力をお願いします。

- 除雪の妨げとなる路上駐車はやめましょう
- 玄関周りの雪かきは各戸で行いましょう
- 車道に雪を出さないでください
- 道路際の樹木などは所有者で伐採しましょう
- 除雪車の騒音・振動にご理解をお願いします

### 問 県庁道路企画課

☎0857-26-7619 F 0857-26-7624

【とっとり雪みちNavi】<http://yukinavi.net/index.html>



### DATA

県人口 / 548,633人〔男 262,071人、女 286,562人〕  
世帯数 / 219,875世帯 (2021年11月1日現在推計)

# 鳥取の魅力創造

## 新春座談会

コロナ禍での社会変容や価値観の変化によって、人々の生き方・働き方が多様化し、地方の魅力や可能性に注目が集まっています。このような潮流は鳥取県にとって飛躍のチャンス。コロナ後の未来に向け、鳥取県知事とさまざまな分野で活躍される方々が展望を語り合いました。

### —活力ある地域へ飛躍—

**知事** 皆さん、明けましておめでとうございます。今年は、新型コロナウイルスを克服して新しいスタートを切る、経済や社会を取り戻す年になればと念願しています。コロナ禍を乗り越え、もう一度幸せを作り上げていく。それが今年のテーマであると思っています。



ごとう ねつこ  
五塔 熱子さん

熱波師、とっとりサウナCEA、  
琴浦町地域おこし協力隊

日本を代表するプロ熱波師。サウナを通じた鳥取の魅力発信に取り組む



あらかわ みつえ  
荒川 満枝さん

鳥取看護大学看護学部教授、  
医学博士

県新型コロナ対策専門家チーム構成員。  
県民生活における感染予防対策を推進

(※1) アウフグーサーのこと。熱したサウナストーンにアロマ水をかけて高温の蒸気を生じさせ、バスタオルやうちわなどで室内の空気を攪拌し熱風を送ることをアウフグースといい、こうしたサービスを行うスタッフをアウフグーサーという

# コロナ後の未来へ



おも だに とむ  
面谷 斗夢さん

株式会社アンドローカル ファウンダー

東京で鳥取県産品を共同購入する事業を  
発案。地域経済の活性化に取り組む

鳥取砂丘の夜明け



よしみ さき  
佐々木 よしみさん

合同会社cocoto 代表社員

ワークスペースを備えた子育て世代向け  
ショップを運営。多様な働き方を広く支援

**面谷** 境港市出身で、現在は東京のIT企業に勤務しています。コロナ禍を機に、ふるさとの力になればと、都内で鳥取県産品の共同購入を広げる取り組みを行っています。

**五塔** 熱波師(※1)として活動しています。昨年5月に地域おこし協力隊として琴浦町へ移住。「とっとりサウナCEA」(※2)として、鳥取をサウナ王国としてPRするため活動しています。



ひら い しんじ  
平井 伸治

鳥取県知事

**佐々木** 八頭町で子育て世代に向けた雑貨店を運営しています。女性の起業支援を行うほか、在宅ワークのプラットフォームづくりにも力を入れています。

**荒川** 鳥取看護大学で看護師の育成に取り組む傍ら、県新型コロナウイルス対策専門家チームの一員として、企業や保育所などの感染対策をサポートしています。

**司会** コロナ禍での社会変化における皆さんの活動についてお聞きします。東京の面谷さんは、鳥取の状況をどう感じていましたか。

(※2)とっとりサウナCEA=CEAとは、Chief Executive Aufgusser (最高経営アウフギーサー)の略であり、県内サウナの魅力発信やサウナと観光地を巡るモデルコースの紹介などに取り組む役割を担う。昨年11月5日に県が五塔さんを任命



# 自ら行動し、ムーブメント起こす

—— 面谷さん



2021年3月に共同購入アプリ「&LOCAL」を開発し、東京の県アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」でプロモーションを実施。初回の実証実験では800杯のカニを販売した

**面谷** 地元の友人から、観光地やホテルの休業で境港のカニが全く売れず困っていると聞きました。「何か自分でできることをしなければ」と都内の知人に声をかけ、2週間で70杯のカニを販売。この経験から鳥取県産品の共同購入アプリ「&LOCAL」

「LOCAL」を開発し、現在実証実験を行っています。コミュニケーションのきっかけやコミュニティの活性化に役立つなどの声もあり、大きな可能性を感じています。

**知事** 都会のカニの価値は地元とはまた違うものがあり、本当に珍しく大変なごちそうです。そこに着目されたのは地元にとつても大きなヒント。東京から見た鳥取の存在は決して大きくありませんが、だからこそその穴場感覚や希少性が魅力になります。こうした試みをぜひ応援させていただき、今後の広がりにつながればと思います。

**司会** 観光やレジャー業界が大きな影響を受けた反面、アウトドアやサウナのブームが広がりました。

**五塔** コロナ禍の活動制限でストレスが高まる中、健康につながるお風呂やサウナ、密を避けたアウトドアの人気上昇。この機を逃さずサウナの魅力を広めようと、鳥取県への移住を決意しました。自然の中のネイチャーサウナは、地下水を使った水風呂や森の中の外気浴など、自然の心地よさを全身で体感することができず。サウナを通して、

鳥取のさまざまな魅力を発信していきたいです。

**知事** 都会のサウナとは違い、ネイチャーサウナはアウトドアスポーツに近いものですし、温泉地等のサウナも魅力的。コロナフリーな環境の中でリラックスし、自分らしさを取り戻す贅沢な体験です。自然豊かな鳥取では、大山や鳥取砂丘でのキャンプサイトの展開など、アクティビティが広がっていきます。多くのキャンパーやサウナーの皆さんを呼び込むチャンスとなりますね。

**司会** 一方で、コロナ禍の自粛生活は、子どもたちや子育て家庭にも大きな負担がありました。

**佐々木** オンラインへのシフトやリモートワークの普及が進み、在宅で仕事ができる環境づくりが進みましたが、多くの母親が孤独感や孤立感、子どもを思うあまりの疲労感を感じていました。SNSはコミュニケーションや情報収集に役立ちますが、一方で偏った情報を集めてしまう怖さも。良かれと思っても安易な発信はぐっと我慢し、不安や困り事はみんなで解消するよう心掛けてきました。

# 自然満喫するサウナで魅力発信を

—— 五塔さん

昨年11月に開催されたアウフグースの技術を競う全国大会で見事優勝。(写真左)  
アウフグースによる風を浴びると体感温度が上昇。一気に発汗が促され、心地よい爽快感を得ることができる。アウフギーサーによる攪拌技術とエンターテインメント性を備えたパフォーマンスは、サウナの魅力の一つとして人気が高まっている(写真下)



**知事** このことは行政サイドでも、非常に悩ましい問題。インターネットの世界では、守るべき感染者の方々が傷つけられてしまうことがあり、私たちはネットパトロールで誤った情報を正すことまでしてきました。佐々木さんのような方がリーダーシップをとり、冷静な行動を呼び掛けていただいていることは本当にありがたいと思います。

**司会** 荒川さん、感染対策の意識や新しい生活様式は、人々の間でどう定着してきたでしょうか。

**荒川** 幸い日本は諸外国と比べると感染症で亡くなる人が少ない国。初めは混乱もありましたが、鳥取県は、自分たちがどうすればよい

## 新しいワークスタイルで皆が輝く

—— 佐々木さん



子ども連れで出勤できる店舗として女性たちが運営するショップ「cocoto+」(八頭町「隼Lab.」内)。女性の起業・就業支援や販路拡大の場として活用されている



のか正しく理解し、動向を見極めようと考えていた県だと思っています。行政と県民の皆さんとのコミュニケーションも、きちんととられていますね。この2年間しっかりと頑張った結果、新型コロナウイルスに対応する力が付いてきたと思います。



# 感染症に強い社会築くチャンスに

——— 荒川さん

## 感染対策の6つのポイント

自分自身と大切な人を守るために、基本的な対策を徹底しましょう

①マスク着用・手洗い・  
寒くても換気の徹底



②屋外でも、人と人の  
距離を十分にとる



③体調が悪ければ無理な  
登校・出勤はやめましょう



④会食時は大皿・箸の共用  
は避け、会話時はマスク



⑤マスクをしていても  
大声を出して騒がない



⑥帰省時など県外との  
往来の際は特に注意



**知事** オミクロン株など、世界で感染の波が起ころる可能性ががあります。ウィズコロナで賢く暮らす社会を作ることが大事です。今年は感染の実情に配慮しながら、隣県旅行支援も広がります。観光地に行くなどというのではなく、ワクチン・検査パッケージ(※3)という新しいシステムを導入しながら安全な形で楽しむのが全国で採用されます。その知恵を社会全体で共有すること

が必要です。

**司会** ここからはアフターコロナに向けた鳥取県の展望についてお聞きします。面谷さん、コロナ禍では都市から地方への意識の変化も生まれていますね。

**面谷** 私の勤務先でも2020年3月から完全なリモート勤務に移行しました。場所に縛られない働き方が広がる中、地方での仕事や生活への関心が非常に高まっていると感じています。鳥取県の飛躍に向けては、自ら行動する人が増えることが重要と考えます。今はSNSなどを通じて簡単に行動が起こせる時代。「鳥取県産品を一緒に買おう」とPRする人が次々に増えていけば、大きなムーブメントを起こす力になると思います。

**知事** アフターコロナの社会に移行しても、「距離は関係ない」という価値観は残っていくでしょう。どこに住んでいても同じように仕事や対話ができることが当たり前になり、働き方や暮らし方、幸せの形も変化していくのではないかと思います。これからも面谷さんに協力いただきながら、東京の中で鳥取を広

げる取り組みを考えていきたいですね。

**司会** サウナやアウトドアのブームを、観光振興や地域活性化につなげていくことが期待されます。

**五塔** コロナ禍では、自分の健康や自分の人生に何が大切なのかということを考えさせられました。その中で自然回帰の流れが起こり、サウナやアウトドアの人気につながっていったと感じています。四季折々の自然環境を楽しめるのがサウナやアウトドアの強み。冬の季節も雨の日も、どんな状況でも楽しめるコンテナツを用意して、魅力を伝えていきたいです。

**知事** もともと温泉地が多く、サウナも根付いていた鳥取県。そこにネイチャーサウナのテイストが加わり、キャンプやアウトドアアクティビティと結びつくことで一気に広がりが出てきました。コロナ禍でサウナやアウトドアの魅力に触れた人の多くが、これからも楽しみ続けられるはず。サウナ界の大家である五塔さんと一緒に盛り上げていきたいです。

(※3) 飲食店やイベント主催者等が利用者のワクチン接種歴又は検査結果の陰性のいずれかを確認することにより、感染対策における行動制限を緩和するもの



# 価値観の転換生かし、輝く地域へ

平井知事

**司会** 活力ある未来に向けては、子育てにやさしく、誰もが多様な形で活躍できる環境も望まれます。

**佐々木** 仕事と子育ての両立に悩む母親たちと向き合う中で、スキルアップした先の可能性が見えない、自分の強みを見つけるための相談場所がないといった課題を感じました。在宅ワークなどでスキルを柔軟に生かせる環境があれば、挑戦したいと思う女性も増えていくのではないのでしょうか。個人が多様な形で活躍できる新しい働き方が広がれば、ワクワクする社会になっていくと思います。

**知事** 鳥取は女性活躍の先進県。県庁の女性管理職の割合も全国トップを独走中です。県内企業にもこうした流れが広がるなど、ここ数年で大きく変わってきましたが、本当に働きやすい環境とするには皆

さんの声を聞いて改善を続けることが必要。今日のお話も含め一緒に考えていきたいと思えます。

**司会** 今後も当面はウイルスとの共存が求められる中、感染対策と経済活動の両立についてはどのように取り組んでいけるでしょうか。

**荒川** 県内では今後の流行に備えた体制が整備されており、私たちもこれまでの経験や学びを生かして対処していけばよいと思います。この先も新興感染症が発生する可能性はゼロではありませんが、今の子どもたちが知識を身につけて成長すれば、感染症に強い社会を作ることができるとは思います。将来、「あのコロナ禍があったからこそ次の感染症を制圧できた」となるようにしていきたいですね。

**知事** 日本人のマスク着用は、百年前のスペイン風邪の際にできた習慣。これが欧米と比べて感染規模を

小さく抑えた要因です。こういう経験や知恵は将来にも必ず生きてくるはず。今後治療薬が普及して普通に付き合っている病気に変わるまで、しっかりと予防を続けていきましょう。

このコロナ禍では、パラダイムシフトと言われる価値観の大転換が起きています。健康や生活環境に対する考え方が180度転換し、本来の意味で、鳥取のような地方が評価され、選ばれる時代になってきました。今年が寅年。この一年、鳥取がさらに輝く「とつとら年」となるよう、皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思えます。

司会／鳥取県令和新时代  
創造本部長 長岡丈道

新春座談会は昨年11月27日に開催しました。



# ■ 関心度を測り、政策に生かす ～令和3年度の県民意識調査～

鳥取県の住みやすさや県政に対する満足度などを調査する「鳥取県の政策に関する県民意識調査」。2016年から開始し、今年度6回目の調査を実施しました。調査結果をご紹介します。

### 県民意識調査の概要

- ・調査対象／県内在住の18歳以上75歳未満の者3,000人
- ・抽出方法／各市町村から無作為に抽出
- ・調査時期／2021年7月30日～8月31日
- ・回答者数／1,644人（回答率 54.8%）

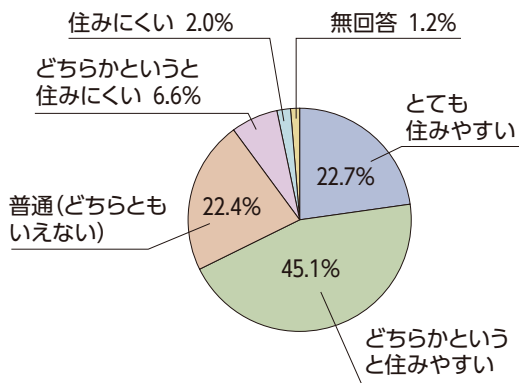
## 「住みやすい」が約7割

鳥取県は、人口最少県としての機動性と、都会にない強みを生かした地方創生を進めてきました。その取り組みのさらなる発展を目指して、県民の関心や意向、県政への満足度を把握し、政策への基礎資料として生かすことを目的に、この意識調査を実施しています。

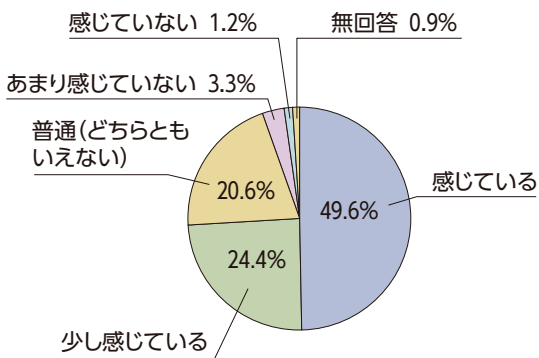
調査項目は▽鳥取県の住みやすさ▽県の施策の満足度と今後の優先度▽重点施策への関心・認識の3つで構成されています。

まず住みやすさに関して、今暮らしている地域が「とても住みやすい」「どちらかという」と答えた人の割合は67.8%（グラフ①）でした。暮らしの中で豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約9割と圧倒的に多く、5割以上の人が治安が良い、住民が親切であると回答。こうした点が鳥取県で暮らす良い面といえます。また、鳥取県に愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」と回答した人の割合は74%（グラフ②）で、調査開始以来連続で7割を超えました。幸福度についても、「普通」以上と答えた人が約9割（グラフ③）。

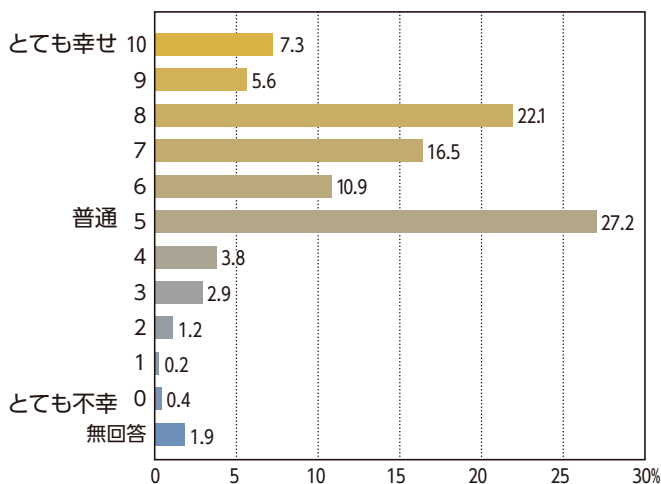
グラフ①今暮らしている地域の住みやすさ



グラフ②鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか



グラフ③鳥取県に暮らして「幸せ」ですか



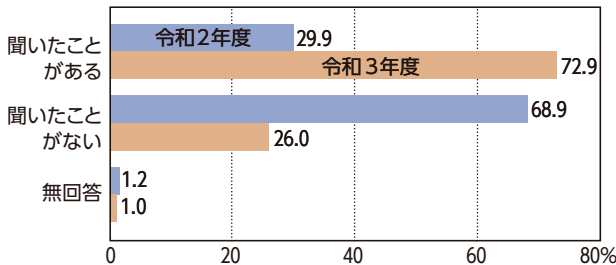


Society5.0とは

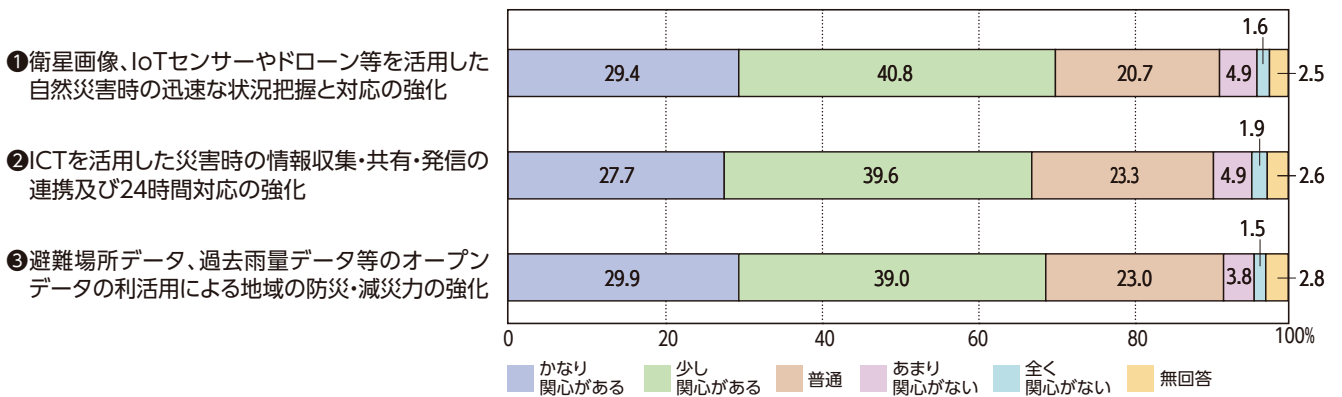
狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)情報社会(Society4.0)に続く、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society5.0)のこと。



グラフ⑤SDGs という言葉・内容を聞いたことがあるか



グラフ④防災・減災における取り組みの関心度



政策への関心度を把握

今回、重点施策として「鳥取県情報技術活用推進計画」(Society5.0推進計画)に関する関心度を調査しました。県は、昨年4月にこの計画を策定。さまざまな分野でICT(情報通信技術)を駆使し、県民生活の利便性や豊かさの向上を進めています。中でも県民の関心度が高かった分野は、「防災・減災分野」。どの取り組みに

視点を取り入れた施策を展開しています。中でも県民の関心度が高かった分野は、「防災・減災分野」。どの取り組みに視点を取り入れた施策を展開しています。中でも県民の関心度が高かった分野は、「防災・減災分野」。どの取り組みに視点を取り入れた施策を展開しています。

についても関心がある人の割合が6割を超えています(グラフ④)。これは、台風や豪雨などの大規模な災害が近年多発していることから、高い関心が集まったと推測されます。また、2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は全世界で取り組むべき重要な課題。県は20年4月に「とっとりSDGs宣言」を行い、SDGsの達成を目指します。調査結果の詳細は、ウェブページに掲載しています。





## 子どもの「ゲーム障害」知って ～第30回心の健康フォーラム～

### 第30回心の健康フォーラム

「ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち～子どもが社会から孤立しないために～」

【講師】児童精神科医 よしかわ とおる 吉川 徹氏

【ウェブ配信期間】

2月1日(火)正午から2月28日(月)午後5時まで

【視聴方法】

ウェブまたはファクシミリで申し込んでください。

(※詳細はウェブページ参照)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/seishincenter/>



### 心の健康や精神疾患の相談窓口

匿名でも相談可能。秘密は厳守します。

■電話／0857-21-3031

■受付時間／平日の午前8時30分から午後5時15分  
まで(祝日・年末年始除く)

※来所相談は、事前にご連絡ください。



問 県立精神保健福祉センター

☎0857-21-3031 F 0857-21-3034

✉seishincenter@pref.tottori.lg.jp

スマートフォンで気軽に遊べるオンラインゲームが子どもたちにも広く普及し、日常生活や健康に支障を来すほどゲームに没頭してしまう「ゲーム障害」が問題となっています。ゲーム障害の正しい理解や学びに向けたフォーラムを開催します。

2019年にWHO(世界保健機関)が新たな精神疾患に認定したゲーム障害は、アルコール依存やギャンブル依存と並ぶ精神行動障害の

一つとされています。ゲームに対する衝動や欲求のコントロールは、家族だけでなく子ども自身も悩んでいることが少なくありません。ゲームと上手に付き合う習慣作りとあわせて、なぜ子どもの心がゲームの世界から離れられないのか、その背景を知ることが重要です。

第30回心の健康フォーラムでは、子どものゲーム障害についての講演をウェブ配信します。ぜひご視聴ください。

## 初回と異なるワクチン打てる ～新型コロナ予防の追加接種～

### 交接種の効果と安全性

諸外国では、初回接種と追加接種で異なるワクチンの使用を認めている国が複数あります。

アメリカの研究によれば次のとおり報告されています。

- 追加接種で交接種を行った場合でも、抗体価の上昇は良好
- 副反応も初回接種での報告と同程度であり、交接種と同種接種で差がなかった

(出典)厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」

(<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>)



問 県庁新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

☎0857-26-7976 F 0857-26-8168

ワクチンの副反応、効果などの専門的な相談  
新型コロナワクチン相談センター(9:00~17:15)

☎0120-000-406 F 0857-50-1033

<https://www.pref.tottori.lg.jp/corona-vaccine/>



新型コロナワクチンの3回目接種が始まりました。対象は2回目接種が完了した18歳以上の。接種券が届いたら、希望者は日程・会場を確認し、予約をしてください。

3回目接種では、初回(1・2回目)に用いたワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社製またはモデルナ社製のワクチン(※)を使用。初回と異なるワクチンの接種(交接種)ができます。また、重症化リスクの高い基礎

疾患がある人や高齢者、それらの人と接する機会の多い医療従事者や高齢者施設の従事者は、特に追加接種が推奨されています。

接種期間は9月末までの予定。引き続き、初回の接種も可能です。接種が完了していない人は、積極的に接種を検討してください。

18歳未満の追加接種については、安全性・有効性を示すデータが整い次第、検討されます。

(※)2021年12月3日現在、モデルナ社製は薬事承認審査中。当面はファイザー社製を使用



## 読者の声 (11月号の意見・感想から)

- 特集で初めて「鳥取グルメステーション」を知りました。コロナ禍で大変な飲食店にできる範囲で貢献したいです。(40代)
- この2年、外食ができなかったので、テイクアウトのお店紹介はありがたい。色々な店・料理から選べるのはうれしいです。(50代)

- 県政トピックスを読んで、木材の積極利用が大切ということが分かりました。県産材を使ったものに興味が湧きました。(20代)
- コロナワクチンの2回接種を終えて安心していましたが、今後も感染対策を継続しないといけないと感じました。(40代)

- 「<sup>さい</sup>よりん彩」の記事を読んで、その取り組みを初めて知りました。ネーミングの由来もすてきです。(60代)



11月号には797人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。

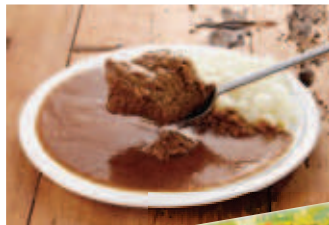


## 県産品プレゼント

応募締め切り 1月20日(木)必着

### トロピカルドラゴンカレー300g [5名]

鳥取和牛のブロックがゴロっと150g入った中辛のご当地カレーです。沖縄県産のドラゴンフルーツを隠し味に使用。スパシーな中にもトロピカルな甘みを感じられます。



問 あかまる牛肉店ハワイ店(湯梨浜町田後)  
☎0858-35-2941 F0858-35-2944

**応募方法** クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見を書き、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブサイト応募フォーム  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>



県産の原木しいたけ「とっとり〇〇〇」と地元食材を使った料理が味わえるグルメフェアを1月から2月にかけて開催します。〇に入るのは次のうちどれでしょう。

ヒントは12頁

- ① 115    ② 111    ③ 555

◎11月号のクイズの答えは「③よりん」でした。



## 手話を覚えてみよう……「事件／事故」

〈手話は一例です〉

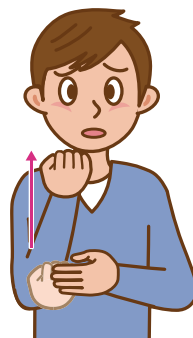
110番は、緊急事態が発生したときの緊急電話。「いつ・どこで」「何があったか」などを慌てず、冷静に話してください。緊急性のない問い合わせや困り事に関する相談は、警察総合電話#9110に。

聴覚や発話に障がいのある人が文字で緊急通報を行えるシステムとして、110番アプリシステム、メール110番などがあります。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/41187.htm>

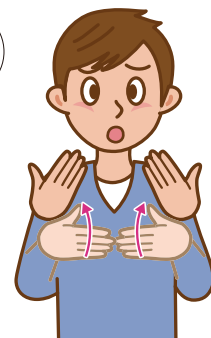


事件



左手の内側から、右手拳を下から上に突き上げる

事故



両手のひらの中指が接するように、上に素早く跳ね上げる



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 ☎0859-30-3720 F0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



# 長イモソースのグラタン



食べ応えはそのままに、カロリーを抑えた一品です。

【協力】鳥取県食生活改善推進員連絡協議会

## 【材料】(4人分)

生サケ切り身	4切れ	刻みパセリ	少々
長イモ(すりおろす)	200g	バター	10g
玉ネギ(薄切り)	120g	塩	小さじ2/5
シメジ	80g	溶けるチーズ	40g
ニンジン(千切り)	40g	パン粉	小さじ4
卵	1個		

## 【作り方】

- ①生サケを一口大に切り、軽く塩を振って、バターを塗った耐熱容器に並べる。
- ②玉ネギ、ニンジン、ほぐしたシメジを①の上に散らす。
- ③長イモを卵とよく混ぜて②の上をかけ、チーズとパン粉をのせてオーブントースター(またはグリル)で約18分間焼く。
- ④焼き上がったらパセリを散らす。

## 県職員給与の状況を公表中

県職員の給与は、県人事委員会が一般家庭の生計費や民間事業所・国などの給与を考慮して行う勧告を踏まえ、県議会の審議を経て条例で定められます。2021年4月1日現在は下表のとおりです。詳細はウェブページで確認できます。(出典:県人事委員会報告資料)

区分	平均月額	平均年齢
県職員	346,796円	43.2歳
県内民間事業所	346,448円	—

☎ 県庁人事企画課

☎0857-26-7418 ☎0857-26-8140

<https://www.pref.tottori.lg.jp/301010.htm>



## とっとり115フェアを開催

県産の原木しいたけ「とっとり115」と地元食材を使った料理が味わえるグルメフェアを開催します。フェアに参加し、はがきかウェブで応募すると、抽選でプレゼントが当たります。詳細はウェブページをご覧ください。

📅 1月29日(土)～2月15日(火)

📍 県内のフェア協力飲食店

🏢 鳥取県原木しいたけブランド化促進協議会

とっとり115フェア事務局(菌興椎茸協同組合内)

☎0857-36-8115 ☎0857-29-1292

<https://www.pref.tottori.lg.jp/280878.htm>



## お知らせ

鳥取の新しい不動産屋さん
広告

# お家一軒まるごと買取!!

まずはご相談ください!

- 相談したいけど、何から始めていいかわからない
- 荷物が多すぎてゴミ処分から始めたい
- 建物の老朽化で解体について相談したい
- 家には住んでいるけど、年末までに買取りしてもらいつつ部屋をキレイにしたい などなど

不要物買取

いらなくなった家財を買取!

不動産買取

自社で査定し、不動産を買取り

仲介

お客様のご希望によってHPやチラシで一般の方への購入を募集!

解体

建物の老朽化が進んでいる場合は解体し、土地としての販売をご提案!

ご成約!!

お電話1本で解決!!

土地売買

売却に時間がかかっても責任をもって管理、販売活動も同時進行!

残置物処分

その他の処分をサポート!

※専門の業者を紹介します

## おたから不動産

☎(0857)35-0975

株式会社アジール

おたから不動産 [検索](#)

(公社)鳥取県宅建物取引業協会会員 免許番号/鳥取県知事(1)第1422号 中国地区不動産公正取引協議会会員 古物商 鳥取県公安委員会許可 第701020007455号

※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。